

酒田市社会福祉協議会会報 (全戸配布)

ふれあい 第4号



この会報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。



- 合併1年で思いつくままに・酒田市社協会長 佐藤 吉雄 … 2
- 安心して暮らせるまちづくりを目指しています
新・草の根事業経過報告 … 3
- 社協支部の活動紹介（松山支部） ……………… 4
- ご参加ください 家族介護者交流リフレッシュ事業 … 4
- 草の根ネットワークニュース ……………… 5
- こんにちは地域包括支援センター“にいだ”です … 6
- ありがとう善意の輪 ……………… 7
- お気軽にご相談下さい「福祉サービス利用援助事業」… 8
- コラムふれあい…………… 8



合併一年で思いつくままに

酒田市社会福祉協議会 会長 佐藤 吉雄

大きな期待を心に秘めて合併発足して一年が経ちました。スタート時点の目標に至る経過や結果はどうだったのだろうか。市協は市民のものと言う立場で考える多くの皆さんから関心をお寄せ頂いているものと考えます。

社協は合併に当たつていろいろな目標を掲げました。中でも「地域福祉の推進」は最重要課題であります。「地域福祉」は「地域における社会福祉」と位置づけられ、家庭や地域の中で、障害のあるなしや年齢に関係なくその人らしい安心できる生活がおくれるよう自立を支援することになります。口頭や文書での表現は簡単ですが、実際には実に幅広い奥の深い大きな目標なのです。ですからそう簡単に「あそこからここまで」進みましたなどと言えるものではありません。

しかし、目標に近づくための体制作りや取り組みについては十分とは言えないものの確実に進展しつつあります。

旧市社協が約二十年前に小学校区毎の福祉のまちづくり組織を立ち上げ、学区社協として機能するまでの年月を考えれば、新

十学区の体制作りはそんなに急にできるものではありません。要は新しい手法に対する理解、分かろうとする努力が大事であると考えます。

次に、会費等の調整はどこまで進んでいるかについてですが、会費調整検討委員会を設置し論議を重ねてますが、旧市地区や県内十三市のレベルからすれば旧市地区の引き上げは避けられないのではと言ふ多くの意見がある一方、会費値上げが学区協組織の強化に重点を置いているため、学区コミュニティ組織の強化策とも重なる大きな課題となることから、少々時間をかけて検討してはと言う考え方もあり、若干スローペースになるのではと考えられます。その他いろいろありますが紙面の都合で割愛させて頂きます。

「ふれあい」創刊号でも強調しましたが、活動の実をあげるために「相互信頼」を基調とする心の繋がりが最も重要なと考えます。市民の皆様には二年目に入つたばかりの若い新組織に温かいご助言やご支援を賜りますようお願い申しあげます。

旧酒田市では、地域福祉の要として自治会、民生委員、地域住民からなる学区社協による「草の根地域福祉ネットワーク事業」を展開してきました。地域福祉の要は偏に、「住民同士の支えあい」「地域互助」です。昨年十一月一日に社協も合併し新生酒田市社協となつたことを機会に地域ニーズに即応し、地域福祉の実践力を強化するため、「新・草の根事業」を四月からスタートしました。

▼若浜学区社協の給食事業を視察する松山地区社協のみなさん



▼富士見学区社協自治会長・民生委員交流会（サロン事業の打合せ、その他）



▼南遊佐学区社協を視察する八幡地区的代表（南遊佐コミセン）



安心して暮らせるまちづくりを目指しています

新・草の根事業経過報告

また、合併した地区については「地区社協」を設置していく事業として「普及モデル事業」を企画しました。

旧酒田市の学区社協の新たな事業は「地域交流事業（いきいきサロン）」です。これまで各自治会が独自に類似した事業を実践されていましたが、全学区に普及拡大する計画です。

富士見学区では、「子育てサロン」「茶話会」などを十月中旬まで七種の地域交流事業を実践しています。また、他の学区社協においても、八幡地区では、地区社協の立ち上げをするため検討を重ねてきました。そして、十一月六日「南遊佐学区社協」の視察研修会で一齊に開始されました。

新・草の根事業は「住民同士の助け合い」を基盤としている事業です。「一人の百歩よりも百人の一步」みんなの力を結集することが何よりも大事なのであります。

八幡地区では、地区社協の運営など具体的活動のノウハウについて研修しました。平田地区では三十九か所のサロン事業を中核に事業展開を進めおり、八月には地区社協を立て、八月には地区社協を立ており、八月には地区社協を立てました。立上げました。

新・草の根事業は「住民同士の助け合い」を基盤としている事業です。「一人の百歩よりも百人の一步」みんなの力を結集することが何よりも大事なのであります。



社協支部の活動紹介 (松山支部)

松山地区は人口五二九〇人
高齢化率が三一・六%、十四歳
以下の年少人口比率は十二・一
%（平成十八年十月一日現在）

「サロン事業は参加する方はもちろん企画する側も楽しむことが長続きするコツです」

「サロン事業は参加する方はもちろん企画する側も楽しむことが長続きするコツです」とお話しくださるのは大川渡いきいきサロン「あづぱり」を運営している大川渡いきいきシステム代表の佐藤ゆき子さんです。

こうした活動のほか子どもたちのボランティア活動の育成に

場所で閉じこもりがちな高齢者が気軽に集い楽しむ「いきいきサロン」が活発です。現在、松山地区のサロンは二十か所で、多いときは二十人の参加者が集うまでになっています。サロンでは、「懐かしい歌を唄おう」「マジックショー」「小学生との交

阪神淡路大震災から十一年目を数えますが、毎年「神戸にメッセージキヤンドルを届けよう」という企画を続けています。これは毎年一月十七日に震災犠牲者を悼む「慰靈祭」に手づくりロウソクを届ける企画です。

また、小学生による手づくりおやつをデイサービス利用者にプレゼントする活動も活発に行われています。八月までに四つの地区社協ができ、あらたな活動もスタートしました。合併後一年、新体制での活動は着々と進んでいます。



●ご参加ください

酒田市家族介護者交流 リフレッシュ事業

〔参加者の皆さまの声〕

- 話を聞いてもらえるのがなによりでした。
 - 地域包括支援センターの講習会、大変良かつた。
 - いろいろな意見を聞いて参考になりました。
 - 自分だけではないと思えると、気持ちが少し楽になります。



場に二十八回開催する予定です。



▲ 山形県老人福祉大会(希望ホール)



▲ 社協会長表彰受賞者のみなさま



▲ 福祉巡回車贈呈式(於:山形市)



▲ 庄内ボランティアフェスティバル(八幡)



▲ 赤十字ボランティア基礎研修会(ひらたタウンセンター)

草の根ネットワークニーズ8000

● 山形県老人福祉大会

十月十九日酒田市民会館「希望ホール」を会場に第四十一回山形県老人福祉大会が開催されました。大会には県内的一般県民老人クラブ会員など約一千人の方が、高齢者が主役として高齢者の生きがいと健康づくりに大きく貢献する大会趣旨のもと集いました。また、語り継ぐ戦時体験やアテネ幼稚園児によるアトラクションもあり、大盛況でした。

● 社協会長受賞式

市社協では多年にわたり社会福祉事業の振興のため貢献された方、社会福祉のために多額の

ご寄付をされた方を顕彰するため会長表彰を行っています。本年度は二十三人が受賞されました。衷心よりお祝い申し上げます。

【受賞者の皆さま】

彦坂 満	星川 清	佐藤 雪雄	柿崎 良子	高橋 紀子	伊藤 精嗣	前田 祐	宮崎 重松	阿部きぬ子	藤井 繁子	齊藤 信	平向 勝
(敬称略)											

● 福祉巡回車贈呈式

山形県生命保険協会では毎年「地域福祉を推進」するため

に必要な福祉巡回車両の贈呈を行っています。本年度は、山形県社協の推薦により酒田市社協が贈呈することとなり、九月二十六日に県生命保険協会の鈴木達也会長より贈呈を受けました。酒田市社協では、判断能力の低下した人を支援する「福祉サービス利用援助事業」の巡回車として使用することで、地域福祉の推進を図ります。

● 庄内ボランティアフェスティバル(八幡)

十月五日第十三回庄内ボランティアフェスティバルが八幡中央公民館を主会場に開催されました。今年は、全体会を東北公益文科大学の大歳先生よりご講演いただき、その後、六つの分

科会に別れテーマ別に意見交換、交流、体験などを行い、協働社会づくりの輪を広げることができました。

● 赤十字ボランティア基礎研修会

災害時のボランティア活動が重要視されている今日、日赤山形県支部ではボランティアとして活動するための知識や技術を身につけるための研修会に力を入れています。今年度の庄内会場は、「ひらたタウンセンター」で九月二十六日開催され、五十四人が受講されました。当日は「赤十字について」の基礎講座、救急法(AEDの使い方)を体験しました。中でも「炊き出し実習」は、ハイゼックスという袋を用いてお米を炊く方法を会得するもので実践的な研修プログラムでした。

担当者紹介

3人の相談員がチームで対応



五十嵐昌子
保健師等担当



池田きよ子
介護支援専門員担当



高橋秀典
社会福祉士等担当

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんをさまざまに面から総合的に支えるために、酒田市が設置いたしました。みんながいつまでも健やかに住みなれた地域で生活していけるよう、地域包括支援センターをご利用ください。

どのようなことでも 相談ください

福祉、医療や生活に関することなど、なんでもご相談ください。

四月から十月まで「にいだ」に寄せられた相談は一千三十七件。

件。相談の相手先は、高齢者本人や家族及び親族の他に、介護サービス事業者や医療機関等の専門機関、また、自治会長や民生委員等の地域関係者からもいたときました。

相談手段は、来所、訪問、電話などさまざまですが、その内

の六割は訪問させていただきま

した。相談内容には、介護保険申請やサービス利用にかかる相

談、高齢者福祉施策、地域支援

施策、障害者施策、生活保護な

どの制度に関する相談、福祉用具の利用や購入に関する相談、

住宅改修に関する相談、疾病や

医療に関する相談をはじめ福祉

サービス利用援助事業（関連記

こんにちは 酒田市地域包括支援センター「にいだ」です。

事八頁)、成年後見制度をはじめ高齢者虐待、消費者被害といった相談もありました。

また、地域包括支援センター

の機能には、介護予防プランの作成があります。十月末現在で介護予防プラン作成の対応数は五十三件でした。

「地域の相談窓口」が在宅介護支援センターから地域包括支援センターに変わったことを知らない方もたくさんおられますので、学区社協の合同会議やブロック

担当区域は浜田、若浜、飛島学区です

地域包括支援センターは「にいだ」を含め酒田市に10箇所あります。担当区域は日常生活圏域で分けられています。担当事業所が不明の場合は当事業所へお問い合わせください。

相談したい。所在地は?

相談の方法は、電話をいただいたり、直接、お会いして行うなど相談内容により適切に対応いたします。酒田市地域福祉センター内に事務所がございますので所在地をご確認ください。



連絡先

酒田市地域包括支援センター にいだ

電話番号：0234-22-2640

FAX番号：0234-24-6299

休日は転送電話で相談を受け付けします！

会議に参加させていただき周知宣伝をさせていただいておりました。今は、地域の方々から顔を覚えていただくことを心がけています」とは、五十嵐昌子保健師等担当です。

地域包括支援センターは、地域の総合相談窓口としての機能を持つています。「悩み事は相談すると半分になる」といいます。相談は無料ですので、ぜひ、お近くの地域包括支援センターをご利用ください。

●共同募金（街頭・戸別・法人以外の募金）

氏名・団体名	金額(円)
匿名	3,931
泉保育園	8,177
酒田市学童保育連合会(9か所)	26,686
宮野浦保育園	6,615
西荒瀬保育園	8,584
報恩会	10,543
広野保育園	9,412
新堀保育園	9,352
小鳩保育園	5,390
亀ヶ崎保育園	7,578
酒田市職員年金者連盟酒田支部	10,043
黒森保育園	4,460
十坂保育園	14,740
洋裁OB会(B)	1,000
洋裁OB会(D)西方八重子	1,000
錦町1丁目自治会6班有志	3,700
東平田保育園	12,268
本田義則	1,393
酒田市役所月曜会	56,000
酒田ゲートボール協会	60,000
上田保育園	2,907
堅田栄作(若竹町)	31,275
荒木和子	3,000
池田光治	7,487
酒田市美術館	3,100
ふれあいヘルパーサービス	1,976
出羽遊心館	1,312
かんぽの郷酒田	2,579
東北公益文科大学	2,727
東北電力(株)酒田営業所	5,475
ペアーレ酒田	2,023
消防本部	310
消防西分署	1,345
庄内農業改良普及センター	30
酒田観光物産協会	1,409
土門拳記念館	9,750
酒田市総合文化センターモール	8,403
酒田看護専門学校	3,249
酒田市役所ロビー	3,900
さくらホーム広野	5,749
酒田警察署	2,620
ジャスコ酒田南店	2,252
サン・シティ	3,215
かたばみ荘	3,504
ライフケア黒森	2,647
婦人の友友の会	10,000
酒田水引手芸教室	5,000
ガラス工芸	3,150
やさしいアコースティックギター教室	5,595
きらめきの会	3,000
高校生ボランティアかざみどり	14,306
市立酒田病院管理課	2,439
黒森公民館	215
東禅寺コミュニティセンター	420

氏名・団体名	金額(円)
松陵コミュニティセンター	200
宮野浦コミュニティセンター	768
北平田公民館	211
富士見コミュニティセンター	826
若浜コミュニティセンター	3,657
南遊佐公民館	766
上田公民館	655
新堀公民館	349
浜中公民館	1,585
中平田公民館	246
広野公民館	1,022
本楯公民館	770
十坂公民館	4,422
浜田コミュニティセンター	1,028
西荒瀬公民館	110
泉コミュニティセンター	281
東平田公民館	6,155
酒田市ボランティアセンター	400
酒田市老人福祉センター	1,570
小林正夫	5,000
北平田保育園	5,025
酒田市役所各課職員	70,213
八幡総合支所	10,200
ディサービスセンターいづみ	4,500
大沢小学校	1,000
八幡中学校	1,530
市立八幡病院	6,046
八幡保育園	4,000
浜中保育園	5,304
酒田湊ロータリークラブ	15,240
鳥海保育園	5,599
小鷹印刷	6,163
月見ヶ丘保育園	2,752

●酒田市社協へのご芳志

氏名・団体名	金額(円)
庄内芸能ボランティアサークル 心	30,000
酒田市消費者団体連絡協議会	18,500
酒田大工支部連合会	13,638
酒田飽海建設総合組合	7,600
庄内歌謡サークル実行委員会	50,000
平向 勝(地見興屋)	300,000
丹青会	40,000
匿名	10,000
県立酒田工業高校生徒会	21,825

(平成18年11月30日現在)



●他の団体への贈り物

氏名・団体名	金額(円)
太熱工業株式会社	100,000
春の元氣作業所(ワークショップ・ヤホー)へ	
村山秀夫(元新屋敷)	100,000
社会福祉法人さくら福祉会さくらホームへ	

●歳末たすけあい(戸別以外)
酒田市身障協婦人部
川村直之助
酒田市民生委員 O.B.会
光風学園
(有)森石材
酒田鮑海建設総合組合広野支部
フレッショ広野ダンス

福祉サービス利用援助事業とは

福祉サービスを利用したいけど、手続きがわからない。福祉サービスの利用料を支払う手続きがわからない。今受けているサービスに不満がある。サービスの内容をかえたいけれど……。

公共料金や税金の支払いが毎月どのくらい必要か一人ではわからない。銀行の振込みや生活費の引き出しが難しくなってきた。

役所や業者からの郵便物やお知らせの意味がわからない。物忘れがひどく、通帳や印鑑をどこに置いたか忘れてしまう。

●このような方に
ご利用していただいています。

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の判断能力が不十分な方、及び日常生活を営むために自分ひとりで意思決定し実行に移すことが難しく生活に不安のある方などが、地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行うことにより生活の支援を行います。

●このサービスを利用するには

専門員が訪問するなどして支援する計画を話し合いで立てます。そして、利用者と社会福祉協議会で契約を結び利用が始まります。十月末現在の利用者数は四十一人です。まずは酒田市社会福祉協議会にご相談ください。

電話 二三一五七六五
専門員 渡部美緒
後藤芳生 まで

相談内容

区分	件数
福祉サービス手続	21
金銭管理	157
書類等預かり	20
医療機関	4
生活設計	175
本事業関係	65
成年後見制度	14
その他	30
合計	486

(平成18年4月から10月まで)

実施するサービスの内容

1. 福祉サービスの利用援助

2. 日常的金銭管理サービス……年金や手当の受取手続き、医療費の支払い、公共料金や税金、社会保険料、日用品の購入代金の支払いの手続き。

3. 書類等の預かりサービス……年金証書、預金証書、通帳、印鑑、権利書、契約書類等

利用料

一回あたり1,500円(1時間程度、生活支援員の交通費含む)
※生活保護世帯は公費補助により利用料が免除されます。

お気軽にご相談下さい 『福祉サービス利用援助事業』

編集委員長 吉村 芳美

コラムふれあい
師走

第三号コラムふれあいは、「大川龍太郎さん」の誤りでした。
訂正してお詫びします。

「けふの日記は特別に、ていねいに書いて置きませう。昭和十六年の十二月八日には日本のまづしい家庭の主婦は、どんな一日を送ったか、ちょっと書いて置きませう。……略」

作家太宰治は、昭和十七年に十二月八日という短編小説を残している。作家とおぼしき主人公と主婦。隣組にみる日常の庶民の生活を綴る。ラジオが流れ敵は幾万ありとも、など古い古い古い軍歌まで飛び出す朝。日本は大丈夫でしょうかと、彼特有の諧謔にあふれ、年くれぬ忘れない戦さへの佳品である。

年くれぬ笠着て草鞋はきながら

〔芭蕉〕